

「令和2年度山形県青パトフォーラム」を開催！

令和2年10月13日、山形市内の山形国際交流プラザ「ビッグウイング」において、山形県防犯協会連合会主催により「令和2年度山形県青パトフォーラム」が開催されました。

青パトフォーラムは、青色防犯パトロール活動の活性化と活動従事者の士気高揚を図り、県内各地の団体との意見交換を目的に、平成28年から毎年開催され、今年で5回目となりました。



【意見交換会の様子】

今回の青パトフォーラムは、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、参加者を絞り込んでの開催となりましたが、青パト従事者、各自治体の防犯担当職員を合わせ計52名が参加しました。

本フォーラムでは、山形県防犯協会連合会専務理事の挨拶、山形県警察本部生活安全企画課調査官による「犯罪情勢と青パトの現状」の説明が行われた後、「山形市防犯協会滝山支部」沼沢支部長、「防犯小国・青パト隊」遠藤代表による、それぞれの団体の取組事例の発表がありました。

その後、講師として今年で5回目の参加となる摂南大学法学部中沼丈晃教授のコーディネートによる意見交換が行われ、上記2団体の他、過去のフォーラムにおいて取組事例の発表経験を持つ「神町パトロール協議会」、「山形市防犯協会金井支部」、「南山形地区青色パトロール実行委員会」の代表3名も、各団体の現状や改善に向けた活動上の工夫、青パト活動に対する財政支援の現状などを発表しました。

続けて行われた中沼教授による講演では、「これまでの4年の山形県青パトフォーラムとこれから」の演題で、コロナ禍における青パト活動の重要性を指摘するとともに、山形県の青パト活動の特徴として、

- 「警察、交番との強い絆」
旗振り役としての警察と団体の代表の取組みが際立っている
- 「交通安全と一緒の活動」
全国的に見ても交通安全活動も兼ねて行うことは珍しい
- 「子供たちとともに」
子供たちとの交流、巻き込みでの各種取り組みを行っている
- 「農産物を守る」
農産物盗難防止の活動は都会では想像もつかない
- 「観光客の安全安心」
訪れる観光客に配慮した活動にも取り組んでいる

の5つを挙げ、「山形県は青パト王国」と強調されました。

参加者からは、「モチベーションを高めることができた」、「他地区の青パトの活動事例を知ることができて有意義だった」、「各自治体の青パトへの支援や登録手続きの簡略化など行政への働きかけが欲しい」などの感想が寄せられ、大変好評でした。

